



V40SE

45年前のスピーカーとは思えません！キリッとした細部の表現力と艶やかさにまず驚きました。オーケストラの弦の響きやアート・ブレイキーのドラムは切れ味がよく、静と動の表現がしっかり再現され華麗。Harbethに比べるとレンジは狭いのに中低域は彫りが深く音楽の陰影が濃い。結果演奏者のパッションに直接触れるような生々しさ聞き入ってしまうことしばしば。真空管にもかかわらず上質なトランジスタアンプで鳴らすような印象。アナログではオルトフォンSPUの魅力全開の太い鳴り！久しぶりに聴いた“これぞアナログサウンド”にしばれました…！

## TANNOY III LZ

10インチⅢLZモニターゴールド同軸2ウェイをオリジナルキャビネットに搭載したモデル。45年経た今でも人気の衰えを見せません。



Dwarf II

ⅢLZでは、まるでアンプの種類が入れ替わったような結果に。Dwarf IIでは、真空管アンプのようにまるで柔らかく、しっとりした鳴り。V40SEで感じるメインの存在感に対して、ヘイリー・ローレンの歌声はバックのピアノとのハーモニーが美しく、Somethin'Elseは超豪華メンバーの掛け合いを披露してくれます。オーケストラでは2階席で鑑賞する音に近く、どれも個人プレイではなく演奏全体を見渡せます。これはアナログでも同様。中域を中心に上下に均一にのびるさまにおしとやかさを感じる一方、聴き所を抑えるTRIGONならではの魅力も出ていました。



# OCTAVE V40SE



# TRIGON Dwarf II

## サウンドクリエイイト注目のアンプで聴く！

当店で評判の英国 Harbeth、イタリア発 Albedo、ヴィンテージスピーカーの TANNOY Ⅲ LZ を注目のアンプ 2 種で比較試聴いたしました。アンプはドイツより 2 機種！ TRIGON の新製品、小型モノラルパワーアンプの Dwarf II と、大人気の OCTAVE からプリメインアンプ V40SE のパワーアンプ仕様。皆さまのお好みはどの組み合わせ？



OCTAVE V40SE ¥588,000

トランス類が自社設計のOCTAVEはドライブ力豊かで音楽性高く、当店でも指名NO1。今回はパワーアンプとして使用。標準の付属真空管は6550ですが、今回はDwarf IIのサウンドキャラクターに合わせてEL34を選択。



TRIGON Dwarf II ¥348,600

フラッグシップ機のMONOLOGをベースに開発されたリファインした小型のモノブロック・パワーアンプ。TRIGON製品はコストパフォーマンスの高さが魅力！



V40SE

これは断然V40SEに軍配が上がりました。先日コトククラブでライブを聴いたヘイリー・ローレンはこの組み合わせが一番「生」に近い…。いやそれ以上かもしれない。解像度の高さに加え音の層が厚く、クリアながら分厚い空間が奥に広がる様は圧巻！細身のAlbedoから発せられる音とは信じがたい程。このスピーカーの持ち味の1つである「定位の良さ」がしっかり出て、駆動力の高さを物語っていました。加えて、LP12とはベストな組み合わせ。エネルギーがエレクトリックで堂々とした鳴りは、イタリアの太らかさそのもの。

## Albedo HL2.2 ¥630,000

イタリアローマ発。個性的な外観にトランスミッションライン方式を採用のスピーカー。見かけとは違う厚みのある広いサウンドステージが魅力で昨年の日本参入以降各誌で評判の新ブランド。



Dwarf II

V40SEに対して言えば、少し力不足感を否めませんでした。セラミックコーンにはさすがに力が必要なようです。それでも、決して嫌な音を出さず、一聴して「鳴らない」という印象は受けません。空間は横方向に広がり、スピーカーの持つ解像度の高さはきちんと出しています。若干淡いのですが、美しい水彩画の趣。V40SEで鳴らすAlbedoが100点満点だとすると、75点くらいでしょうか。Dwarf IIで鳴らすならTRIGON純正の組み合わせで厚みとコクのあるTRV100と改めて聴いてみたいところ。



V40SE

Harbethのユニットを細やかにドライブして、ボーカルの口がキュッと小さく、端正ながら声にとろみと色気があります。JAZZでもオーケストラでも楽器の一音一音が明快で存在感があります。特にオーケストラではダイナミックレンジの高低がしっかり表現される上滑らかでつながりがよく、演奏の強弱がよくでていて思わず体が前のめりに。レンジ感もあり、正統派トラディショナルスタイルな鳴り方。Dwarf II同様、アナログ、DSの音質差はどちらも同じような鳴り。また曲の録音レベルの差がはっきり出るのも特徴。



Dwarf II

V40SEに比べると、ヘイリー・ローレンの口は若干大きいかもしれませんが、声に湿り気があり、チャーミングさと大人っぽさを兼ね備えている魅力的な再生。ピアノの音色や旋律も際立って美しく、オーケストラは全体が見渡せながらも細部も明瞭。JAZZのドラムが奥行き方向へ駆けゆく様は実にリズムカル。すべての曲において、軽快さとフレッシュさが小気味よく、箱を鳴らすタイプのスピーカーにベストな組み合わせで、HP300MK II との相性の良さも実感しました。TANNOYやAlbedoに比べアナログとDSの音質差を感じず。



## Harbeth HL Compact 7ES-3 ¥346,500

20cmコーン型ウーファーとドームツイーターを組み合わせた伝統的な構成に各部ブラッシュアップを施し、しなやかさと解像度の高さが加わった7ES-3は当店でも指名率高し。



◎SOUNDCREATE <http://www.soundcreate.co.jp/>  
〒104-0061 東京都中央区銀座5-10-6 第一銀座ビル 7F Tel.0120-62-8166  
営業時間：12：00～19：00 定休日：毎週火曜日/第2、第3日曜日（祝日の場合第1日曜日に振替）

◎SOUNDCREATE Legato <http://www.soundcreate.co.jp/legato/>  
〒104-0061 東京都中央区銀座2-4-17 Tel.03-5524-5828

【取り扱いブランド】LINN / PIEGA / B&W / ELAC / Davone / JBL / Albedo / McIntosh / Sonus faber / Mark&Daniel / Anthony Gallo / HARBETH / OCTAVE / NuForce / TRIGON / N-mode / QUADRASPIRE...etc (ヴィンテージ各種)



試聴  
ディスク

- <DS>
- ・ヘイリー・ローレン「They oughta write a song」(ボーカル)
- ・Somethin' Else「Love for Sale」(JAZZ)
- ・カラヤン指揮ベルリンフィル
- 「ベートーヴェン交響曲3番<英雄>第1楽章」(オーケストラ)
- <LP12>
- ・カーメン・マクレ「Everything must change」
- ・ハイティンク指揮LSO「ベートーヴェン交響曲3番<英雄>第1楽章」
- ・Somethin' Else「Love For Sale」

以前HP300MK II と TRIGON TRE50 の組み合わせが非常によかったこともあり、Dwarf II と組み合わせたいプリアンプとしてHP300MK II を採用しましたが、やはりこの組み合わせは最高！ Harbeth に比べ TANNNOY はレンジは狭いですが、深みと陰影があり趣のある音色。TANNOY や Harbeth とはまるで異なる表情を見せてくれる Albedo は前者 2 機種に比べるとアンプに力が必要かなと感じました。閉店後の聴き比べ会、スタッフ間で好みははっきり分かれて面白いのです…！ この後も JBL は？ PIEGA の新モデル 50.2 は？ 当店オリジナルの RFT には Dwarf II が合いそう！ V40SE が 6550 の場合は？？？ などキリがないので、続きは当店ホームページにて！



アナログプレーヤー  
LINN SONDEK LP12



ネットワークプレーヤー  
LINN AKURATE DS/K



プリアンプ  
OCTAVE HP300MK II